

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2014-199222

(P2014-199222A)

(43) 公開日 平成26年10月23日(2014.10.23)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
GO 1 N 21/954 (2006.01)	GO 1 N 21/954 A	2 G O 5 1
A 6 1 B 1/00 (2006.01)	A 6 1 B 1/00 3 O O D	2 H O 4 0
GO 2 B 23/24 (2006.01)	A 6 1 B 1/00 3 O O P	4 C 1 6 1
GO 2 B 23/26 (2006.01)	GO 2 B 23/24 A	
GO 1 N 21/84 (2006.01)	GO 2 B 23/26 C	

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2013-75094 (P2013-75094)
 (22) 出願日 平成25年3月29日 (2013.3.29)

(71) 出願人 000000284
 大阪瓦斯株式会社
 大阪府大阪市中央区平野町四丁目1番2号
 (71) 出願人 000112691
 フジコム株式会社
 東京都千代田区神田佐久間町二丁目20番地
 (74) 代理人 100103399
 弁理士 橋本 清
 (72) 発明者 網崎 勝
 大阪府大阪市中央区平野町四丁目1番2号
 大阪瓦斯株式会社
 内

最終頁に続く

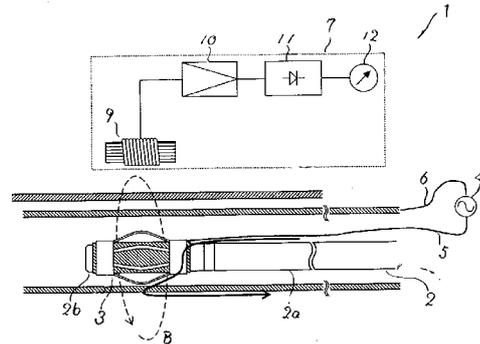
(54) 【発明の名称】 配管内部検査装置

(57) 【要約】

【課題】 金属製配管において、内視鏡の先端部の位置を壁外から正確かつ容易に検知することができる配管内部検査装置を提供する。

【解決手段】 内視鏡2と、内視鏡2の先端部2bに配設した電極体3と、電極体3に交流電圧を印加する交流電源4と、電極体3と交流電源4とを接続する接続ケーブル5と、配管Pと交流電源4とを接続する接続ケーブル6と、配管Pの外部から発生する7と、磁界Bを検出する磁界検出装置7と、から配管内部検査装置1を構成する。磁界検出装置7は、磁界Bを検出する磁気検出器9と、磁界強度を視覚表示する表示器12と、から構成する。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

配管内部に挿入して、配管内部の状況を検査するための内視鏡と、この内視鏡の先端部に配設した電極体と、この電極体に交流電圧を印加する交流電源と、前記電極体と前記交流電源とを接続する接続ケーブルと、前記配管と前記交流電源とを接続する接続ケーブルと、配管の外部から発生する磁界を検出する磁界検出装置と、から構成した配管内部検査装置。

【請求項 2】

前記磁界検出装置は、磁界を検出する磁気検出器と、磁界強度を視覚表示する表示器とから構成したことを特徴とする請求項 1 に記載の配管内部検査装置。

10

【請求項 3】

前記磁界検出装置は、磁界強度を音声表示する音声発生器を配設したことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の配管内部検査装置。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、屋内の壁内等に設置された金属製配管の内部状況を検査するための配管内部検査装置に関する。

【背景技術】**【0002】**

屋内の壁内等に設置された配管内壁面の損傷状況等を検査するために、配管内部に工業用内視鏡を挿入し、移動させ、配管内部の状況を目視し又は撮影することは広く行われている。

20

ファイバースコープ、ビデオスコープ等の工業用内視鏡においては、挿入部の先端部に対物レンズ又は固体撮像素子(CCD)を配置し、これらによって配管内部の状況を目視し又は撮影するようになっている。

【0003】

ここで、単に配管内壁面の損傷状況等を観察するだけであれば、内視鏡の先端部がどの位置にあるか特には検知する必要はない。しかし、配管の損傷部分を補修する場合には、内視鏡の先端部の位置を検知し、配管の損傷部分の位置を特定する必要がある。

30

【0004】

内視鏡の先端部の位置を検知する方法として、従来、先端部に発信器を配設し、この発信器が発生する磁界を壁外から検出する方法が採用されてきた。

一方、内視鏡の挿入部が実際に配管内に挿入された長さを計測することによって、間接的に先端部の位置を検知する方法も提案されている(特許文献1参照)。

【先行技術文献】**【特許文献】****【0005】**

【特許文献1】特開2001-280961号公報

【発明の概要】

40

【発明が解決しようとする課題】**【0006】**

しかし、内視鏡の先端部に発信器を配設し、発信器が発生する磁界を壁外から検出する方法では、配管が金属製である場合には、磁界が金属製配管の壁部において遮蔽され、外部に洩れ出てこないために、先端部の位置を検知することができない。

【0007】

一方、内視鏡の挿入部が実際に配管内に挿入された長さを計測する方法では、壁内に配管が直線状に敷設され、敷設位置も既知である場合や、架空に配管が敷設され、外部から配管の長さを計測できる場合には、先端部の位置を検知することができるが、敷設位置が不明である場合には、先端部の位置を検知することができない。

50

【0008】

そのため、配管が金属製である場合には、内視鏡検査によって配管の内壁面に損傷個所が発見されたとしても、従前の方法によっては、その正確な位置を検知することができなかった。

よって、損傷個所の補修作業を行う際には、有る程度広い範囲の壁面を開削しなければならず、多くの手間と費用を必要とする。

【0009】

又、壁内には他の配管やケーブルが多数配設されており、広い範囲の壁面を開削する場合には、これらを損傷する危険性も増大する。

【0010】

本発明は、かかる従来の問題点を解決するために為されたものであって、その目的とするところは、配管が金属製である場合において、内視鏡の先端部の位置を壁外から正確かつ容易に検知することができて、損傷個所の補修作業を行う際の手間と費用を低減すると共に、壁内に配設された他の配管やケーブルを損傷する危険性を低下することができる配管内部検査装置を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0011】

上記目的を達成するために、本発明の配管内部検査装置は、配管内部に挿入して、配管内部の状況を検査するための内視鏡と、この内視鏡の先端部に配設した電極体と、この電極体に交流電圧を印加する交流電源と、前記電極体と前記交流電源を接続する接続ケーブルと、前記配管と前記交流電源を接続する接続ケーブルと、前記配管の外部から発生する磁界を検出する磁界検出装置と、から構成するようにしたことを特徴とする。

【0012】

ここで、前記磁界検出装置は、磁界を検出する磁気検出器と、磁界強度を視覚表示する表示器を配設することを特徴とする。さらに、磁界強度を音声表示する音声発生器を配設してもよい。

【発明の効果】

【0013】

本発明の配管内部検査装置によれば、金属製配管において、内視鏡の先端部の位置を壁外から正確かつ容易に検知ことができ、損傷個所の補修作業を行う際の手間と費用を大幅に低減することができる。又、壁内に配設された他の配管やケーブルを損傷する危険性を大幅に低下することができる。

【図面の簡単な説明】

【0014】

【図1】本発明の配管内部検査装置の構成図である。

【図2】図1に示す配管内部検査装置の電極体の(A)は正面図、(B)は側面図である。

【発明を実施するための形態】

【0015】

以下、本発明の配管内部検査装置の好適な実施形態について、図面を参照して詳細に説明する。

図1は、本発明の配管内部検査装置の構成図である。

【0016】

本発明の配管内部検査装置1は、図1に示すように、配管内部に挿入して、配管内部の状況を検査するための内視鏡2と、この内視鏡2の先端部2bに配設した電極体3と、この電極体3に交流電圧を印加する交流電源4と、電極体3と交流電源4を接続する接続ケーブル5と、配管Pと交流電源4を接続する接続ケーブル6と、配管の外部から発生する磁界を検出する磁界検出装置7とから構成してある。

【0017】

内視鏡2は、可撓性を有するロッド状の挿入部2aを有し、その先端部2bに対物レン

10

20

30

40

50

ズ又は固体撮像素子（ＣＣＤ）を内蔵してある。

【 0 0 1 8 】

そして、挿入部 2 a を配管 P 内部に挿入し、先端部 2 b を移動させながら、配管 P 内部の状況を目視し又は撮影していくことによって、配管 P 内壁面の損傷状況等を検査することができる。

【 0 0 1 9 】

内視鏡 2 の先端部 2 b には、図 1 及び図 2 に示すように、絶縁材料から成る支持管 8 を介在させて、金属材料から成る電極体 3 を配設してある。

支持管 8 の材料としては、ポリアセタール（POM）、フェノール樹脂（PF）、ポリアミド樹脂（PA）、ポリエチレンテレフタレート（PET）、ポリブチレンテレフタレート（PBT）、ポリフェニレンスルフィド（PPS）等の合成樹脂、又、それにガラス繊維を混入させたもの等を使用することができる。

電極体 3 の材料としては、弾性を有する導電材料である銅、リン青銅等を使用することができる。

【 0 0 2 0 】

電極体 3 は、図 2 に示すように、両端部に配置した保持体 3 a , 3 b を外方に湾曲させた細帯状の複数の連結片 3 c によって連結したものである。

連結片 3 c は、周方向に均等間隔に配設してあるが、常時、連結片 3 c の何れかが配管 P の内壁面に接触するように、3 以上配設するのが好ましい。

【 0 0 2 1 】

そして、電極体 3 と交流電源と 4 を接続ケーブル 5 で、配管 P と交流電源 4 とを接続ケーブル 6 で接続してある。

【 0 0 2 2 】

よって、交流電源 4 を ON して交流電圧を印加すれば、交流電流が接続ケーブル 5、電極体 3、金属配管 P、接続ケーブル 6 と流れ、交流電源 4 に戻る。

そして、電極体 3 の複数の連結片 3 c には交流電流が流れるから、電極体 3 の周囲に、すなわち、内視鏡 2 の先端部 2 b の周囲に磁界 B が発生することとなる。

【 0 0 2 3 】

磁界検出装置 7 は、図 1 に示すように、磁界 B を検出する磁気検出器 9 と、この磁気検出器 9 からの出力信号を増幅する増幅器 10 と、出力信号を整流する検波器 11 と、出力信号に基づいて磁界強度を視覚表示する表示器 12 と、から構成してある。

【 0 0 2 4 】

磁気検出器 9 としては、一般的に、コイルが採用されるが、交流磁界を捕捉する他の形式のセンサを採用してもよい。

【 0 0 2 5 】

表示器 12 は、磁界強度を視覚表示するものであればよく、指針を用いたアナログメーターでもよく、液晶画面に数値又はグラフ表示するデジタルメーターであつてもよい。

【 0 0 2 6 】

又、表示器 12 に代えて、又は表示器 12 と共に、磁界強度を音声表示するスピーカー等の音声発生器を配設してもよい。

【 0 0 2 7 】

内視鏡 2 の先端部 2 b の周囲に発生した磁界 B は、壁内を経由して壁面 W に到達するが、電極体 3 より前方では電流が流れていないので、磁界 B の強度は急激に弱くなる。

内視鏡 2 の先端部 2 b を探知する際には、磁気検出器 9 を壁面 W から略一定距離に保持しつつ、前後左右に移動させ、表示器 12 の表示が最大値を示す地点を探索する。この地点は配管 P の敷設経路に沿った線上となるが、電極体 3 より前方には磁界 B が存在しないため、最大値を示す地点が途切れた地点が内視鏡 2 の先端部 2 b 位置となる。

【 0 0 2 8 】

以上のようにして、本発明の配管内部検査装置によれば、金属製配管において、内視鏡の先端部の位置を壁外から正確かつ容易に検知することができ、損傷個所の補修作業を行

10

20

30

40

50

う際の手間と費用を大幅に低減することができる。又、壁内に配設された他の配管やケーブルを損傷する危険性を大幅に低下することができる。

【0029】

尚、本発明の配管内部検査装置は、屋内の壁内等に設置された配管のみならず、地中に埋設された配管等、何等かの物体に遮蔽された配管にも適用することができる。

【符号の説明】

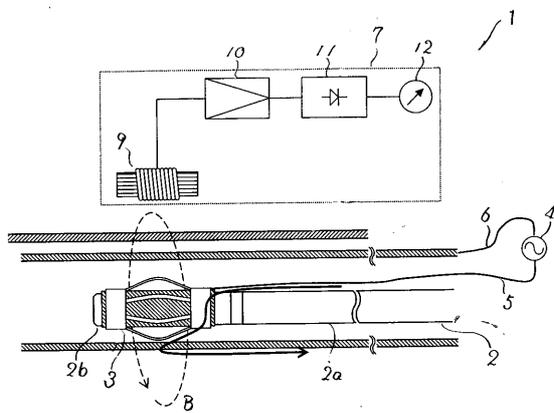
【0030】

- 1 配管内部検査装置
- 2 内視鏡
- 2 b 先端部
- 3 電極体
- 3 a , 3 b 保持体
- 3 c 連結片
- 4 交流電源
- 5 接続ケーブル
- 6 接続ケーブル
- 7 磁気検出装置
- 9 磁気検出器
- 1 2 表示器
- P 配管
- W 壁面
- B 磁界

10

20

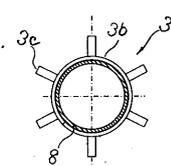
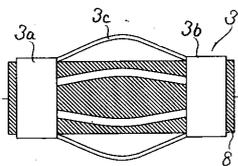
【図1】



【図2】

(A)

(B)



フロントページの続き

(51)Int.Cl. F I テーマコード(参考)
G 0 1 N 21/84 A

(72)発明者 久保田 兼士
東京都千代田区神田佐久間町2 - 2 0 翔和秋葉原ビル3 F フジテコム株
式会社内

Fターム(参考) 2G051 AA82 CC01
2H040 AA02 BA22 BA23 DA12 DA51
4C161 AA00 AA29 FF40 HH52 HH55 JJ01 JJ06 JJ17 NN05

专利名称(译)	管道内部检查设备		
公开(公告)号	JP2014199222A	公开(公告)日	2014-10-23
申请号	JP2013075094	申请日	2013-03-29
[标]申请(专利权)人(译)	大坂瓦斯株式会社		
申请(专利权)人(译)	大阪燃气有限公司 フジテコム株式会社		
[标]发明人	網崎勝 久保田兼士		
发明人	網崎 勝 久保田 兼士		
IPC分类号	G01N21/954 A61B1/00 G02B23/24 G02B23/26 G01N21/84		
FI分类号	G01N21/954.A A61B1/00.300.D A61B1/00.300.P G02B23/24.A G02B23/26.C G01N21/84.A A61B1/00.550 A61B1/00.552 A61B1/00.715		
F-TERM分类号	2G051/AA82 2G051/CC01 2H040/AA02 2H040/BA22 2H040/BA23 2H040/DA12 2H040/DA51 4C161/AA00 4C161/AA29 4C161/FF40 4C161/HH52 4C161/HH55 4C161/JJ01 4C161/JJ06 4C161/JJ17 4C161/NN05		
代理人(译)	桥本 清		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

解决的问题：提供一种管内检查装置，该装置能够从金属管的壁外侧准确且容易地检测出内窥镜的前端部的位置。内窥镜（2），布置在内窥镜（2）的尖端部分（2b）上的电极体（3），用于向电极体（3）施加交流电压的交流电源（4），电极体（3）和交流电源（4）。从管道P的外部产生的用于连接的连接电缆5，用于连接管道P和AC电源4、7的连接电缆6，用于检测磁场B的磁场检测装置7以及从管道P的外部产生的管道内部检查装置1。配置。磁场检测装置7包括检测磁场B的磁检测器9和可视地显示磁场强度的显示器12。[选型图]图1

